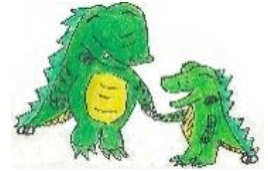




和邇小

ニューズレター

NO.2



2021.4.28 文責 加藤

4月「人権の日」より

新しい学年で約1か月がたちました。どの学年の子ども達も、新しい学年と新しい仲間に心躍らせ、きらきらした瞳で勉学に励んでいる姿が見られます。

4月の人権の日では、自分や友達の人権を大切にすることを勉強しました。また、動画を通し、以下のようなことが人の心をきずつける「いじめ」となることを確認しました。

心のいじめ

グループに入れない、悪口を言う、悪口を書く、等

体のいじめ

たたく、ける、体当たり、ズボンをずらす、等

持ち物のいじめ

持ち物を隠す、持ち物を壊す、本やノートを破く、等

インターネットのいじめ

ネット上のグループに入れない、ネット上に悪口を書き込む、見られたくない写真や動画を公開する、または公開すると脅す、等

お金のいじめ

むりやり物を買わせる、お金をうばう、等

昨今、いじめの捉え方が変わってきています。文部科学省では、H25年度より「一定の人間関係にある児童から行う心理的、物理的な影響を与える行為であって、対象となった児童が心身の苦痛を感じているもの」と定義しています。それを受け、本校でも全児童がいじめの被害者にも加害者にもならずよい人間関係を築き、共に成長しあえる集団として育ててほしいと願っています。

※裏面にいじめの考え方について載せています。ご覧ください。

子ども達の感想を紹介します。(1年生は感想を書いていません)

【2年生】

- 人がいやかどうか考えてから行動しようと思った。
- いっしょにすごしていく友達を大切にしたい。
- いじめをされたらつらい。先生に言います。
- やられてもやりかえさないようにします。
- 友達がこまっていたらたすけたいです。
- 人をけったりたたいたりしたらダメなことがわかりました。
- いやなことをされたら、「やめて」「いやだ」と言います。
- いじめは法律いはんって知りました。

【3年生】

- いじめをする人は、じょうだんだと思っていることがあるけれど、されている人はすごく嫌な気持ちなんだと思いました。
- 自分がされていやなことは、人にやらないようにしたいです。
- 人をからかうことがないように気を付けたいです。
- もし、ぶつかってしまったらわざとでなくても「ごめんね。だいじょうぶだった？」といいたいです。
- 相手をきずつけないように考動したいです。

【4年生】

- いじめってしんこくな心の病気になることを知った。
- 自分がよくても、相手が嫌だったらダメ。相手の事も考える。
- いじめは人がいやがるし、やったことはいつか自分にかえてくるから、やってはいけない。
- いじめをしている子を見かけたら「ダメだよ。」「自分がされたらどう思う？」と声をかけたい。
- 友達の気持ちを考えることを大切にしていきたい。

【5年生】

- 一人ひとりがいじめをしないよう心がけることが大切だと思う。自分もいじめをされると悲しい辛い気持ちになる。
- いじめは許されない。法律で禁じていることを思い出しました。
- いじめをすると、だれもいい気持ちにならないし、逆にクラスや学年、学校の雰囲気が悪くなってしまって楽しい学校じゃなくなります。なので、絶対にいじめをしません。いじめがないようみんなで意識したいです。
- 人はみんな幸せに生きる権利があるとわかった。

【6年生】

- いじめはされたらすごく嫌な気持ちになるし、絶対してはいけないと思います。もしいじめられている人がいたら、6年生として声をかけたいと思います。
- 辛い時は、色んな人に相談するのが大事だなと思った。
- 人が傷つかないか心でしっかり確かめてから言葉を発しようと思った。
- 心が傷ついているかはわからない。目に見えないから気を付けようと思った。
- 言葉は魔法だってことが分かった。ひと言で笑顔にも泣き顔にもできる。